

にかほ 料理を通じて国際交流 外国人ら、だまこ鍋作り



にかほ市在住の外国人と地域住民らが、国内外の料理を通じ相互理解を深める交流イベント「にかほ国際キッチン」が25日、同市平沢の仁賀保公民館で開かれた。約30人が参加し、だまこ鍋を作りながら親睦を深めた。

市民や自治体職員らでつくる若者円卓会議の国際部会が企画、運営。今回で2回目。

参加者は3つのグループに分かれ、だまこやだし作りなどを分担して調理した。だまこ鍋にはにかほ市産のひとめぼれを使用。すり鉢やビニール袋を使ってご飯をつぶし、塩水を手に付けながら丸めてだまこを作った。

鶏がらでだしを取ったスープにゴボウやマイタケ、セリなどの具材を加えて煮込み、完成させた。

にかほ市内の福祉施設で技能実習生として働くミャンマー出身のイー・イーソウさん(30)は「初めて作ったが、思ったよりも簡単にできておいしかった。国に帰ったら家族に作って食べさせたい」と話した。(大谷好恵)

(令和8年1月26日(月) 秋田魁新聞から一部抜粋)